

## 1. 浴場におけるレジオネラ症の発生について

旅館の大浴場や、温泉施設・スーパー銭湯などの公衆浴場では、浴槽のお湯を循環させて再利用する構造のお風呂が多く、**循環風呂**といえます。

**循環風呂**では、同じ浴槽水を循環・ろ過して連続使用しますので、浴槽水が細菌によって汚染されてしまうと、菌が繁殖して大発生につながるおそれがあり、適切に管理しなければ**レジオネラ属菌**による健康被害(レジオネラ症)が発生することがあります。



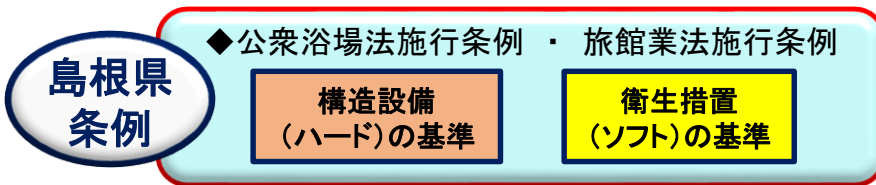
## 2. 法令に基づくレジオネラ症対策について

浴場の衛生管理の基準として国が「**公衆浴場における衛生等管理要領**」や「**旅館業における衛生等管理要領**」などの技術的指針を定めており、都道府県はこの指針を参考にして、条例で浴場の構造設備や衛生管理の方法を定めています。

### レジオネラ対策の技術的指針

- ①公衆浴場における衛生等管理要領
- ②旅館業における衛生等管理要領
- ③公衆浴場における水質基準等に関する指針

### 条例における基準設定の目安



### ◆島根県条例におけるレジオネラ対策の主な内容・特徴

	条例の内容・特徴
構造設備	レジオネラ属菌の繁殖源となりやすい設備の構造、管理に重点を置いた基準
衛生管理	循環風呂はレジオネラ属菌の検査回数を多くする等、リスクに応じた管理方法を規定

## 3. 対策の見直し

- ◆最新の知見を踏まえ国の技術的指針が見直された  
→構造設備、衛生管理の両面でレジオネラ対策を強化
- ◆県内の浴場におけるレジオネラ症の発生動向を踏まえた対策の強化

県条例を改正  
する必要がある